

週休二日の実現に向けて



働き方を変える。建設業を変えていく。

これは、単なるスローガンではありません。必ず成し遂げるといふ宣言であり、約束でもあります。

小さな気付きや行動から、業界全体を変えていく。

一人ひとりの働き方を見直すことが、次世代の働き手を増やすことにもつながると思うから。

週休二日を。

誰もが笑顔で働ける未来を。すべての現場で実現していきます。



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会 九州支部**

JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS KYUSHU BRANCH OFFICE

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目3-22 産恵ビル3階 TEL 092-451-6244 FAX 092-481-0941

編集・発行 **総務広報委員会**

一般社団法人 日本建設業連合会 本部・各支部

本 部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 TEL03-3553-0701 FAX03-3551-4954	中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21 TEL052-261-3808 FAX052-261-4363	愛知・岐阜・静岡・三重
北海道支部	〒060-0004 札幌市中央区北四条西3丁目 TEL011-261-6243 FAX011-261-2528	関西支部	〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30 TEL06-6941-3658 FAX06-6942-4031	大阪・福井・滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山
東北支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 TEL022-221-7810 FAX022-265-9465	中国支部	〒730-0051 広島市中区大手町2-11-15 TEL082-243-3017 FAX082-242-2380	広島・鳥取・島根・岡山・山口
関東支部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 TEL03-3552-3208 FAX03-3552-3206	四国支部	〒760-0026 高松市磨屋町6-4 TEL087-851-6969 FAX087-851-3176	香川・徳島・愛媛・高知
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 TEL025-285-8886 FAX025-285-8884	九州支部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-22 TEL092-451-6244 FAX092-481-0941	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

(一社)日本建設業連合会ホームページ
<https://www.nikkenren.com/>

日建連のホームページには、建設業に関する基本データ、戦後の建設業界の関連年表、全国の土木博物館一覧表、また、他では見られない迫力ある土木写真など、お役に立つ情報が満載です。ぜひ、アクセスしてみてください。

九州の建設業 [キーストン]

Keystone

要石(かなめ石)の意。社会資本の整備を通じて当団体が、豊かな未来づくりのかなめとなるよう願いをこめて。

vol.
39

2023年2月発行



桜島空撮(写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟)

一般社団法人 日本建設業連合会 九州支部

Message

支部長ご挨拶



新4Kの魅力ある業界に向けて

(一社)日本建設業連合会 九州支部 支部長

西河 誠 (大成建設㈱ 九州支店長)

九州支部長の西河でございます。
本誌をご覧の皆様には当支部の事業活動につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、建設業は、新型コロナウイルス感染症による世界的な経済停滞や資材価格の高騰と品不足の問題など、これまで経験したことのない厳しい状況に見舞われています。また、建設業における就業者の高齢化は確実に進行しており、次世代の担い手となるべき若手技能労働者の確保、2024年度に迫った時間外労働の上限規制など喫緊に取り組まなくてはならない課題も山積しております。

この課題に対応すべく日建連では、「担い手確保」「生産性の向上」「働き方改革」を重要課題に位置付け、持続的に社会資本を整備し、地域社会の安全・安心を確保できるよう、建設業を魅力ある産業に進化させる活動を進めております。

「担い手確保」については、その要となる建設キャリアアップシステムを2023年度からあらゆる工事における原則化という国土交通省の方針に全面的に協力し、日建連として決定した新たな数値目標を確実に達成することで、その先にある建設技能者の処遇改善につなげてまいります。

「生産性の向上」についてもプレキャスト化の促進、i-ConstructionやDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進など新技術の現場への展開を進めることにより、現場の生産性向上も進めてまいります。

また、「働き方改革」については、2024年度に迫った時間外労働の上限規制への対応として、労働時間の短縮をさらに推進し、現場における週休二日の実現に向けては、取り組みを加速してまいりたいと考えております。

さらに、建設業の社会的使命である災害支援についても、近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等に対する備えや、防災・減災のための取り組みについても着実に進めてまいりたいと考えております。

私ども九州支部会員一同は、建設業の社会的役割を果たしながら、国民の理解促進を図りつつ、建設業の健全な発展と若者にも魅力ある建設業を目指したいと思っております。そのためには、建設業界が新3K「給与が良い、休暇がとれる、希望がもてる」に「かっこいい」を加えた新4Kの魅力ある業界に生まれ変わることが求められます。

引き続き建設業界の健全な発展と魅力ある建設産業づくりのための活動を展開してまいりますので、皆様のご理解、ご協力とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

九州の建設業 [キーストン] Keystone

vol. 39
2023年2月発行

contents

九州ウォッチング

2 「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指して (鹿児島県)

けんせつ小町

いつもイキイキ けんせつ小町!

8 広成建設株式会社 九州支店
福田 姫子さん

10 西松建設株式会社 九州支社
末継 紗誉さん

12 東急建設株式会社 九州支店
金子 みどりさん

市民現場見学会

来て、見て、感じてみよう! 土木・建築の魅力

14 **土木の日見学会** 福岡(今泉二丁目2)外地区下水道築造工事
香椎パークポート コンテナターミナル
JR鹿児島線折尾駅高架工事

15 **土木工事現場見学会** 鹿児島3号 東西道路シールドトンネル(下り線)新設工事

日建連の取り組み

16 けんせつ小町がラジオに出演!

17 建設業の今とこれからをみんなで支える
建設キャリアアップシステム

Report

18 •土木の日ファミリーフェスタ2022
•インターンシップ講演会

19 •令和4年度第1回産学官建設技術セミナー
•九州建設技術フォーラム2022

20 •災害防止総決起大会
•意見交換会

21 •建設技術講演会
•安全環境委員会活動



Outline

22 団体の概要

Information

24 会員・役員名簿

【2022年度・新型コロナウイルス感染防止対応について】

■日建連九州支部主催の各催しにおいては、参加者には全員マスク着用をお願いし、適度な社会的距離を保った座席配置で実施しています(人数制限のうえ、体温測定や手指消毒も実施)。■「けんせつ小町」の撮影においては、撮影スタッフは体温測定と手指消毒を行い、マスクを着用して実施しています。なお、撮影対象者がマスクを外した際も適度な距離を保ち、極力会話を交わさず、短時間で実施しています。

「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指して



〈鹿児島県知事〉

しおた こういち

塩田 康一 昭和40年10月 鹿児島県鹿児島市生まれ

■略歴

昭和63年 3月 東京大学法学部卒業

昭和63年 4月 通商産業省入省

熊本国税局人吉税務署長、在イタリア日本国大使館一等書記官、経済産業省大臣官房審議官などを歴任

平成30年 6月 九州経済産業局長

令和元年12月 経済産業省退官

令和 2年 7月 鹿児島県知事就任

はじめに

我が国では、少子高齢化による本格的な人口減少や東京一極集中等が進行し、地方においては、地域社会の担い手不足や地域経済の縮小など、様々な社会的・経済的課題が顕在化してきております。

また、デジタル化の進展やSDGsの推進、カーボンニュートラルの実現などに加え、依然として収束が見通せない新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会経済情勢は大きく変化してきております。

こうした変化や新たな潮流にも的確に対応するため、本県では、令和3年3月、かごしま未来創造ビジョンを改訂したところであり、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」の実現を目指し、県民の皆様と一緒に「未来を拓く人づくり」、「暮らしやすい社会づくり」及び「活力ある産業づくり」に取り組んでいるところであります。

具体的には、本県の基幹産業である農林水産業及び観光関連産業の更なる振興や技術力を有する製造業の競争力の強化、将来を担う新たな産業の創出に取り組み、本県の「稼ぐ力」の向上を図るとともに、地域や各種産業を支える人材や新たな未来を切り拓く人材の確保・育成、結婚・出産・子育てしやすい環境整備や高齢者が健やかで生きがいを持てる社会の形成を図るため、同ビジョンに掲げた各般の施策を積極的に推進しているところであります。

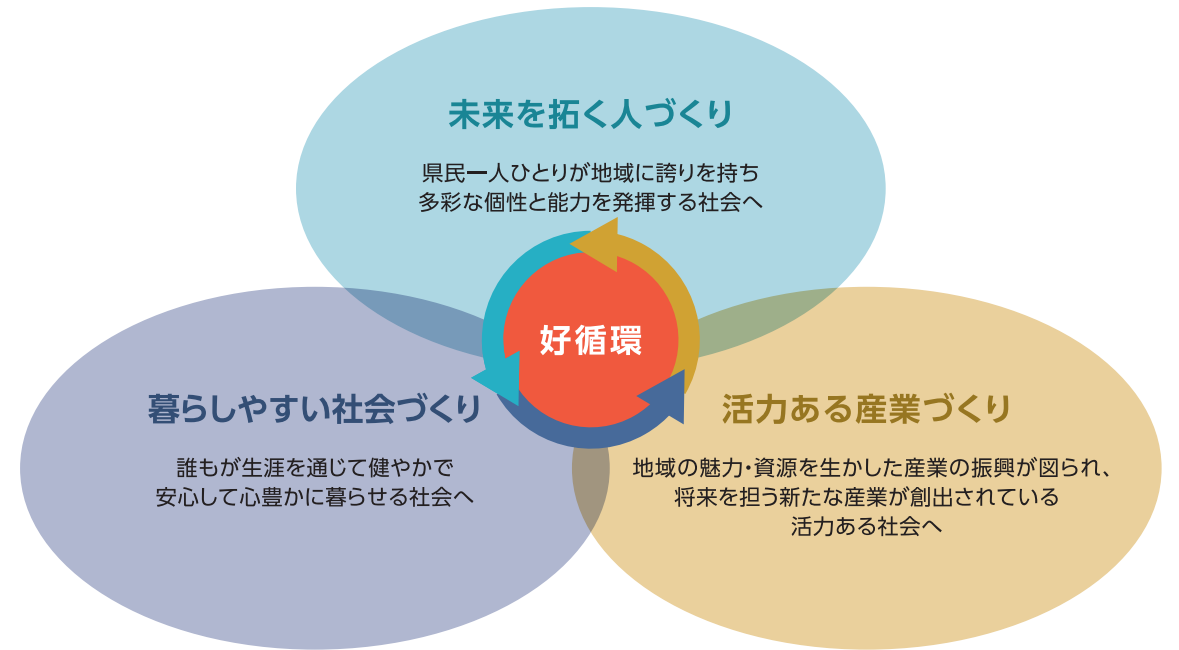
また、集中豪雨や台風、地震など頻発・激甚化する自然災害等に備え、防災・減災対策や県土強靱化の充実・強化に努めているほか、社会機能の維持・向上はもとより、観光・産業振興等による地域経済の活性化を図るため、高規格道路の整備やアジアを中心とする海外との人流・物流の拠点となる空港・港湾の機能強化等を推進しております。

令和4年は、地元開催となった第12回全国和牛能力共進会において、本県代表牛が種牛の部において最高賞の内閣総理大臣賞を受賞するなど、前回の宮城大会に続き「和牛日本一」の栄誉を獲得しました。また、霧島神宮が国宝に、鹿児島神宮が国の重要文化財に指定されるなど、明るい出来事も数々ありました。

令和5年は、夏に「2023かごしま総文」、秋に「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。さらに令和6年は、「国民体育大会」から改称されて初めてとなる「国民スポーツ大会」が佐賀県で開催されます。2年連続して九州で開催されるこの2つの大会を双子の大会として位置付け、両県連携のもと、九州一体となった盛り上げを醸成してまいりたいと考えております。

私としては、将来にわたって全ての県民の皆様が生き生きと活躍し、安心して心豊かに暮らし続けられる鹿児島の実現に向け、今後とも、鹿児島のと未来をつくるということを基本として、誠実に着実に県政の推進に全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層の御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈鹿児島の目指す姿〉 誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島



施策展開の基本方向

- 1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現
- 2 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
- 3 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療・介護の確保
- 4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興
- 5 脱炭素社会の実現と豊かな自然の共生
- 6 安心・安全な県民生活の実現
- 7 快適な生活環境の向上と世界につながる県土の創造
- 8 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進
- 9 多様で魅力ある奄美・離島の振興
- 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- 11 観光の「稼ぐ力」の向上
- 12 企業の「稼ぐ力」の向上
- 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
- 14 デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上
- 15 持続可能な行財政運営

鹿児島県土木部の主要施策

1 安心・安全な県民生活の実現

■強靱な県土づくりと危機管理体制の強化

1. 県管理河川の整備

平成5年の8・6豪雨で被害を受けた河川や、近年、著しい住宅浸水被害が発生した河川について、氾濫被害を軽減するため整備を行っています。



新川のJR田上橋架け替え(鹿児島市)



野田川の河道拡幅(出水市)

2. 土砂災害対策の推進

台風や集中豪雨などにより土石流やがけ崩れなどが発生した地区の早期復旧や土砂災害の未然防止を図るため、砂防堰堤や斜面対策などの整備を進めています。



深港川の砂防堰堤整備(垂水市)



古里地区の法枠工整備(鹿児島市)

3. 県管理海岸の整備

台風や地震などによる高潮や津波等から生命・財産を守るため、離岸堤や護岸などの海岸保全施設の整備を進めています。



網野子海岸の高潮対策事業(瀬戸内町)



指宿港海岸の離岸堤・護岸の整備(指宿市・直轄)

■人やモノの交流を支える交通ネットワークの形成

1. 主要幹線道路等の整備

広域交通ネットワークの早期形成を図るため、高規格道路など県内各地から空港や港湾などの交通拠点にアクセスする道路の整備を進めています。



東九州自動車道 鹿屋申良JCTの整備(鹿屋市)



北薩横断道路 広瀬道路の整備(さつま町)

2. 港湾施設の整備

本県は数多くの離島や2つの半島地域を含む南北600kmにわたる広大な県土を有しており、物資の多くが海上輸送により供給されていることから、港湾は県民生活や地域の産業を支え本県の発展に欠かすことのできない基礎的な交通基盤として極めて重要な役割を果たしています。県民の生活と産業を支え、アジアに広がる国際交流ネットワーク及び広域的な国内交流ネットワークの形成を図るため、クルーズ船・定期船運航の充実を図る施設を重点的に整備するとともに、船舶の安全運航を確保するため、各施設の機能確保に必要な整備を進めています。



志布志港

志布志港の岸壁延伸(志布志市)



鹿児島港の奄美・沖縄航路拠点機能強化(鹿児島市)

3. 橋梁・トンネル等の施設の適切な維持管理

県が管理する約4,400kmにおよぶ国・県道には、橋梁やトンネルなど多くの道路施設が存在し、これらは今後急速に高齢化を迎えます。このため、道路施設の長寿命化を推進し、修繕等に係るトータルコストの縮減を図るため、橋梁、トンネル、道路附属物等及び舗装の長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づく道路施設の適切な維持管理に努めています。



甌大橋の橋梁点検車による上部工点検(薩摩川内市)



吹上浜サンセットブリッジの主塔部補修(南さつま市)

2 快適な生活環境の向上と世界につながる県土の創造

■個性豊かで魅力ある景観づくりと活力あるまちづくり

1. 都市基盤の整備

機能的な都市活動を確保した環境負荷の少ないコンパクトなまちづくりを促進するため、円滑な都市交通の確保、良好な都市環境の形成に資する街路等の都市基盤整備を推進しています。



都市計画道路新町線のバイパス整備(霧島市)



鹿児島駅周辺地区の交通結節機能強化(鹿児島市)

3 観光の「稼ぐ力」の向上

■戦略的な誘客の展開

1. 県内におけるクルーズ船の受入環境整備

鹿児島港においては、令和4年3月末、マリポートかごしまの第2岸壁が完成しました。令和5年3月以降には、受入再開した国際クルーズ船の寄港が予定されています。また、令和3年7月に世界自然遺産に登録された奄美大島にある名瀬港は、観光交流の拠点として、今後、更に大きな役割を担うことが期待されています。引き続き、クルーズ船の受入環境整備に取り組みます。



マリポートかごしまの第2岸壁の整備(鹿児島市)



名瀬港の観光船バースの整備(奄美市)

いつもイキイキ 土木
けんせつ小町!

「けんせつ小町」は建設業で活躍する女性の愛称です。

広成建設株式会社 九州支店
福北榎田作業所 技術係

ふくだ ひめこ
福田 姫子さん

2021年入社
日本文理大学 工学部 建築学科卒業
宮崎県出身



様々な現場を経験し 土木技術者として成長したい。

建設業界に入った理由は何でしょうか。

個性的なビルや住宅などの建築に興味があったことから、高校は建築学科へ入り、大学も建築学科に進みました。高校・大学と建築分野を学んでいくなかで、建物自体よりも大きな視点で「まちづくり」に関わる分野に魅力を感じ、大学3年のときのコース分けで土木コースを選択しました。このコースでは、土木と共に環境についても学習。生活を支える社会資本の維持管理の大切さを認識し、そうした仕事に携わってみたいと強く思ったことが建設業界を選んだ理由です。

現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

支店の計画課での勤務を経て、入社2年目でこの現場へ配属されました。現在は、福岡高速道路(都市高速道路)の橋梁補修工事で施工管理を担当しています。この現場は当社が担当する補修工事においては初となるBIM/CIMを活用した工事であり、私自身勉強しながら工事に携わっているところです。やりがいを感じるのは、工事箇所が図面通りに変化していく様子を確認できたとき。また、自分の作成した書類等が他の関係者に渡って工事が円滑に進行していることを実感したときも大きな喜びを覚えます。

これからの目標や叶えたい夢はありますか。

建設業界に入って間もないので、知識の修得はもちろん現場に臨む姿勢など足りない部分をしっかり学んでいきたいです。現場の周囲に目配り・気配りしながら、技術者として確かな行動ができるようになること。そのため、様々な現場で知識・経験を積み上げたいと考えています。また、BIM/CIMのさらなる勉強に取り組むこと、あわせて土木施工管理技士の資格を取得することも目標です。資格については2級を取得した後、ぜひ1級にもチャレンジしたいです。

未来の けんせつ小町へ メッセージ!

男性ばかりが働いているイメージの建設業界ですが、今は女性技術者も徐々に増えて活躍しています。また、女性が増えることで、建設業界の仕事環境も良い方向へ確実に変化しています。私も、今まで働きにくいと思ったことはありません。建設業界に女性が増えることは心強く嬉しいので、興味のある女性が増えることを期待すると共に、一緒に働ける日を楽しみにしています。

工事情報 | 工事名:福岡高速道路(都市高速道路)・博多駅東~榎田橋梁補修工事(R3-1) / 概要: 恒久足場の設置(上部工)および橋脚補修(下部工) / 場所: 福岡市榎田交差点 / 工期: 2022年6月13日~2024年8月30日

2022年11月撮影 | 撮影に際しては、適度な距離を保つなど新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して実施しています。

いつもイキイキ 土木
けんせつ小町!

「けんせつ小町」は建設業で活躍する女性の愛称です。

西松建設株式会社 九州支社
土木部 土木課

すえつべ さよ
末継 紗誉さん

2020年入社
神戸大学 工学部 市民工学科卒業
大阪府出身



社内での多様な業務に 現場の経験を活かしています。

建設業界に入った理由は何でしょうか。

発展途上国の開発に、興味を持っていたことがきっかけです。貢献できる手段の一つが道路整備などの建設分野であることを知り、大学で土木分野を学びました。また学生時代、ボランティアや留学で東南アジア地域を周ったことも影響しています。建設コンサルタントや国際機関などの進路もあったのですが、就職説明会で西松建設の業務内容等の話を聞き、作業員のチームワークによるモノづくりや、世界トップレベルという日本の技術力を学ぼうとゼネコンへの入社を選択しました。

現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

現場勤務(北陸新幹線高架橋工事)を経て、現在は、施工計画書の作成、設計図面変更のサポートなど現場の後方支援を行っています。また、部署のポスターを制作するほか、若手社員の研修内容についてのアンケートを取ったり、本社からの調査依頼で工事事例をまとめたりすることもあります。仕事の充実感を覚えるのは現場の支援の際、現場経験を活かし、何が求められているかを判断して対応できたとき。図面作成がスムーズに運び、職員に感謝された際はとてもやりがいを感じました。

これからの目標や叶えたい夢はありますか。

社内で女性技術者委員会が2021年に発足し、女性が建設業界で働く際に何が問題で、どうすれば良いかをまとめています。私も委員の一人として、この委員会活動を通して建設業界での働き方を見直し、女性職員はもちろん男性職員にとってもより良い働き方を提言できればと思っています。また家族の協力を得て、できればいつの日か現場に戻り、建設工事の第一線で活躍できればいいですね。もちろん今後も、発展途上国の開発に貢献することを夢として持ち続けていきます。

未来の けんせつ小町へ メッセージ!

建設業界は、まだ「どんな女性でも働きやすい」とまでは言えない環境かもしれませんが、しかし私自身、現場での勤務は仕事と向き合えた大切な期間であり、今も宝物です。建設業界に女性が入るようになって10年ほどになりますが、その頃の先輩方よりも環境は改善されているように感じます。この働き方の改善を促すのは、女性職員です。改革途中の業界ですが、興味があれば一度飛び込んでみるのもいいかと思います。

いつもイキイキ 建築
けんせつ小町!

「けんせつ小町」は建設業で活躍する女性の愛称です。

東急建設株式会社 九州支店 建築部
プリマハム鹿児島新工場建築工事作業所

かほ こ
金子 みどりさん

2021年入社
西日本工業大学 デザイン学部 建築学科卒業
熊本県出身



苦労もありますがそれ以上に 魅力の大きな仕事です。

建設業界に入った理由は何でしょうか。

幼い頃から、よくブロック玩具で家を作ったりしていました。その際、自分がイメージしたモノを作り上げる楽しさや達成感を覚え、また完成品を見た人たちが褒めてくれたときに大きな喜びを感じることがありました。この体験が、今の仕事に繋がるベースになっています。明確に建築分野を目指したのは、高校生のとき。女性建築士の活躍をテレビで見たことをきっかけに、モノづくりが好きな自分の個性や長所を活かそうと大学で建築学を専攻し、卒業後に東急建設へ入社しました。

現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

食品工場の施工管理を担当しており、躯体工事や品質安全書類のまとめといった仕事に携わってきました。現在は2022年12月の竣工を目前に、建物検査に必要な竣工書類を作成しています。入社2年目で担当工事を持つようになりましたが、やはり工事がスムーズに運んだときには大きなやりがいを実感することができました。責任が大きくなったぶん壁にもぶつかりましたが、トラブルなく工事が進んだときは自分の段取りがうまくいったかなと安心すると同時に、充実感も生まれました。

これからの目標や叶えたい夢はありますか。

工事に関わる人たちから信頼される、現場監督になることです。まだ知識が少なく経験も浅いため、まずは図面を読み込み、理解できるようになることが必要だと認識しています。知識を増やすためにも、1級建築施工管理技士の資格を取得したいです。また今後、ライフステージによって現場の仕事に携われない場合もあるので、今は違う方向から建築を支えることも考えています。長く建設業界で仕事が続けられるように、施工管理以外の図面作成や会計分野なども学ぼうと思っています。

未来の けんせつ小町へ メッセージ!

現場は、夏は暑く、冬は寒い環境で、雨の日は濡れながら作業に取り組むことも普通です。作業着が、泥で汚れることもあります。しかし建物が徐々に形になっていく様子を間近で見ると、ものすごくやりがいを感じることができます。苦労以上に、魅力の大きな仕事です。女性の動きやすい環境づくりが進められるなか、女性の感性・発想を上手に生かして活躍する方々が増えることを期待しています。

工事情報 | 工事名：プリマハム株式会社鹿児島新工場建築工事／概要：地上3階・地下RC造・地上S造 延床面積：19,940.84㎡／
場所：鹿児島県いちき串木野市／工期：2021年8月1日～2022年12月31日

2022年11月撮影 | 撮影に際しては、適度な距離を保つなど新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して実施しています。

福岡(今泉二丁目2)外地区下水道築造工事 香椎パークポート コンテナターミナル、JR鹿児島線折尾駅高架工事

■開催日/2022年11月16日

■場所/福岡(今泉二丁目2)外地区下水道築造工事・香椎パークポート コンテナターミナル:福岡県福岡市、JR鹿児島線折尾駅高架工事:福岡県北九州市
■施工企業/福岡(今泉二丁目2)外地区下水道築造工事:安藤ハザマ・岩崎・西部・福東建設工事共同企業体



土木学会西部支部との共催の見学会が3年ぶりに開催され、28名の参加者が3カ所を訪問しました。最初の見学地は、福岡市の「福岡(今泉二丁目2)外地区下水道築造工事」。ここでは泥土圧式シールド工法による工事が行われており、2グループに分かれて現場を見学しました。事務所で概要説明の際には、「シールドマシンの金額は?」などの質問も。また、実際に掘削したトンネルを歩いて見学しましたが、街の地下で静かに行われていた工事を目にした参加者は、高い技術力に感心していました。

見学後は、香椎パークポートのコンテナターミナルへ移動。ターミナルビルの屋上は、博多港を見渡せる絶好の場所です。参加者は、港に停泊中の大型船、巨大なコンテナクレーン、ズラリと並ぶコンテナ、アイランドシティの高層マンションなどを見ながら、ガイドが話す広大な港湾施設の説明に聞き入っていました。昼食後は、高架化が完了したJR鹿児島線折尾駅へ。ここでは、整備予定の駅前広場、新しくなったJR折尾駅や高架化工事などの説明を受けるとともに、駅構内に展示された旧筑豊本線のレール、駅舎や高架化線路などを見学したほか、線路が交差する場所へ移動して周囲をウォッチング。終了後の帰りのバス内では拍手も起こるなど、参加者にとっては多くの知識を楽しく学んだ1日になりました。



興味津々の様子で博多港を見渡す参加者。



普段は近づけない線路そばでウォッチング。

鹿児島3号 東西道路シールドトンネル(下り線)新設工事

■開催日/2022年12月14日 ■場所/鹿児島県鹿児島市

■施工企業/大成・大豊特定建設工事共同企業体 ■建設コンサルタント/日本シビックコンサルタント(株)



JR鹿児島中央駅からほど近い市街地で進行している、「鹿児島3号 東西道路シールドトンネル(下り線)新設工事」の見学会が行われ、鹿児島工業高等学校の建設技術系に所属する2年生31名が参加しました。まず、高校生たちは現場作業事務所に集合。発注者である国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所の建設監督官による、鹿児島東西道路の概要や工事内容などの説明に耳を傾けました。次いで、建設コンサルタントの担当者からはコンサルタントの役割や仕事内容、仕事のやりがいなどについての説明を、最後に、施工会社である大成建設(株)の作業所長からゼネコンの仕事内容、自社の工事事例の説明を受けました。シールドマシンの組み立ての様子なども動画で確認。工事に関わる会社の理解も深めたようでした。

その後は2グループに分かれて、工事現場およびインフォメーションセンターを訪問。工事現場では、立坑の中で組み立て中の直径約11mのシールドマシンを目にして、これから着工されるトンネル工事をイメージしているようでした。一方のインフォメーションセンターでは、動画や模型を見ながら、またVRなどで工事の概要を楽しく学びました。生徒からは、「3回目の見学だが工事が順調に進んでいることを実感した」「シールドマシンの大きさに驚いた」などの感想が聞かれました。



VRは高校生たちにも大人気。



参加者の中には女子生徒の姿も。



福岡市の福岡(今泉二丁目2)外地区下水道築造工事は、今泉・薬院周辺地区における豪雨時の浸水被害軽減を目的とした雨水排水施設整備工事。香椎パークポートは、世界各国から集まるコンテナを扱うためにつくられた国際コンテナ基地です。JR鹿児島線折尾駅高架工事は、折尾駅周辺の3鉄道における線路の高架化によって、周辺市街地の分断や踏切による交通渋滞の解消等を図るものです。



鹿児島東西道路は、鹿児島ICと鹿児島市中心市街地および重要港湾である鹿児島港を結ぶ高規格道路。鹿児島3号東西道路シールドトンネル(下り線)は、この道路における「広域ネットワークの形成」「アクセス機能強化」「交通混雑の緩和」「交通安全性の向上」の事業目的のもと、延長2.3kmのトンネルをシールドマシンで掘削する工事です。

建設業の今とこれからをみんなで支える

建設キャリアアップシステム

建設業の魅力向上にむけて

技能者一人ひとりの
「**技能**」と「**経験**」を
しっかりと「認め」「育てる」仕組みです



point

1

技能者の 処遇改善

- カードをタッチしたりモバイルを使って、就業履歴を蓄積。
- 技能者の賃金アップなど、能力や経験の蓄積を反映した処遇の改善につなげます。



point

2

明確な キャリアパス

- 技能者の「技能」と「経験」を4種類のレベル分けで評価。
- 業界共通の仕組みで、レベルアップが見通せて、若い人たちに選ばれる産業を目指します。



point

3

施工能力の 見える化

- 優秀な技能者を育てる事業者として施工能力のアピール。
- 仕事の増大につながります。
- 「人材を大事にする企業」であることをPR。
- 担い手の確保につながります。



技能者を評価する仕組み

- 評価基準に合わせて4種類に色分けされた(白▶青▶銀▶金)カードを交付して評価。

事業者の施工能力の見える化を進める仕組み

- 所属する技能者の人数・評価。
- 施工実績、建機の保有状況。
- コンプライアンス、社会保険加入状況などで評価。

一般財団法人 建設業振興基金 | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館

詳しくは建設キャリアアップシステムのホームページをご覧ください。申請方法や最新情報のチェックはこちらから <https://www.ccus.jp/>

※このページは、(一財)建設業振興基金が提供する建設キャリアアップシステムの資料をもとに作成しています。



けんせつ小町が ラジオに出演!

FMラジオでけんせつ小町2名が
建設業の仕事を紹介しました。

広報活動の一環として、建設業で働くすべての女性の愛称である「けんせつ小町」をアピールするため、若築建設(株)と松尾建設(株)の2名のけんせつ小町がFMラジオ「LOVE FM(ラブエフエム国際放送)」に出演し、建設現場からそれぞれの仕事ややりがいなどを紹介しました。なお、LOVE FMは、福岡県全域をはじめ北九州市、佐賀・熊本・大分・長崎・山口の各一部地域をカバーする広域放送で、約800万人の日本人と約5万人の在日外国人に向けて放送を行っています。

放送では、まずDJの「けんせつ小町をご存知ですか?」という言葉で始まり、次いで「けんせつ小町」の愛称を説明。その後、現場で働くけんせつ小町2名にインタビューするという形になりました。インタビューの内容は、「建設業で働くと思った理由は?」「どんな仕事をしていますか?」「どんな時にやりがいを感じますか?」など。また、質問は趣味や休日の過ごし方などにも及び、「これからの目標や将来の夢」の質問後に、リクエスト曲を流して終了しました。放送は、12時30分から10分程度になっており、2日間で延べ5,000人~1万人の方が聴取。「けんせつ小町」というキーワードや、建設業の仕事内容などを多くの方に紹介しました。

取材の様子は、天神・博多を中心に福岡の最新情報を発信している地域情報ポータルサイトの【天神サイト】を開き、「けんせつ小町」で検索すればご覧いただけます。

天神サイト けんせつ小町

検索



土木の日ファミリーフェスタ2022

■主催/福岡地区土木の日実行委員会 ■開催日/2022年10月2日
■場所/国営海の中道海浜公園 子供の広場管理棟



ラジコンゲーム&ユニフォーム
撮影は行列ができるほどの大人気!

ラジコンゲームとキッズユニフォームで 建設業の仕事をアピール!

3年ぶりの開催となったこのイベントで、日建連九州支部は無人化施工を模した「バックホウのラジコンゲーム」のコーナーを設置。リモコン操作のミニチュアバックホウでカゴの中のお菓子を拾い上げる楽しいゲームを通じて、子どもたちとその家族に建設業の仕事をアピールしました。また、「ユニフォームから建設業を変える」というコンセプトのもと、本部のけんせつ小町部会が監修・製作した、キッズ用ユニフォームを着用してもらう企画も同時に実施しました。子どもたちは、オリジナルユニフォームを着てラジコンゲームに熱中!記念撮影でもピースサインでニコリ。保護者からも「カッコいい」との声が寄せられ、行列ができるほどの大盛況となりました。

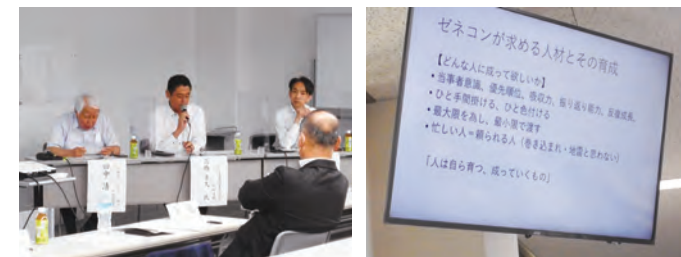


なぜ11月18日は土木の日なの?

なぜ11月18日になったかという、2つの理由があります。1つは、土木という漢字をそれぞれ分解すると「土は十と一」「木は十と八」になるからです。もう1つは、社団法人「土木学会」の前身にあたる「工学会」の創立日が、明治12年11月18日なので、昭和62年にこの日を「土木の日」と決めました。

令和4年度第1回産学官建設技術セミナー

■主催/産学官建設技術交流会 ■開催日/2022年8月19日 ■場所/リファレンス駅東ビル



建設業界では近年、企業(産)、大学および研究機関(学)、行政(官)の三者連携による新技術の共同研究など様々な取り組みが活発化しています。2022年度は産学官建設技術交流会のもとで、「令和4年度第1回産学官建設技術セミナー」が開催されました。

なお、開催に際しては新型コロナウイルス感染防止の対策を講じたうえで実施。今回は、産学官建設技術交流会の日野伸一会長(九州大学名誉教授)の挨拶に始まり、次いで九州大学工学部長の園田佳巨教授による「次世代技術者育成の課題と展望」と題した基調講演が行われました。その後、休憩を挟んで「建設分野が求める人材育成」をテーマにしたパネルディスカッションを開催。産業界の代表の一人として参加した日建連九州支部・新技術評価委員の高橋幸久氏が、「ゼネコンが求める人材とその育成」について、「どんな人を採用したいか」や「どんな人になって欲しいか」などの多様な意見を述べたほか、日建連会員企業の若手社員も人材育成について発言しました。

インターンシップ講演会

■主催/長崎大学 ■開催日/2022年12月7日 ■場所/長崎大学



参加者の声(社会環境デザイン工学コース3年生の感想文から抜粋)

●ゼネコンは、現場と深く関わり施工工程に近い場所で管理していく仕事というイメージでした。実際に長崎大学を卒業され、ゼネコンで働かれている先輩方の話を聞いて、イメージが変わった点がいくつかありました。まず、若手の意見が通りやすい職場環境になってきているということです(若手の退職防止だと話されていました)。どの立場からの意見も反映されるということで、受け身の姿勢だけでなく主体的に考えて仕事ができる環境であるということが分かりました。勤務地の申請や残業の減少傾向についてなど、建設業界のマイナスに捉えられている点が変わってきているということが理解できました。現場の方々との進捗について会話を交わすなど、土木分野の知識だけでなくコミュニケーション能力が、仕事を円滑に進める上で重要な能力だと感じました。

2022年度インターンシップ講演会に 会員企業から2名を派遣!

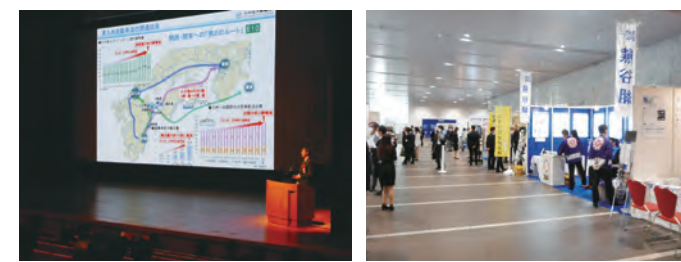
日建連九州支部は毎年、長崎大学工学部工学科社会環境デザイン工学コースの要請によって会員企業から社員を派遣し、「インターンシップ講演会」で講演を行っています。これは、就職を控える学部学生および大学院生に対し、土木事業に携わる建設業者やコンサルタント業者、公務員の「生の声」を届け、進路決定に役立ててもらうために企画されたイベントです。

2022年度は、戸田建設(株)と西松建設(株)から2名が講師として派遣され、建設業界に関心を持つ学生たちに建設業や自社業務の紹介、また仕事のやりがいなどについて説明しました。

●建設業については、土木事業の中で特に施工業務を受注し、現場での設計の見直しも含めて、工期に沿って施工管理業務を行っていくということが分かった。そのため、工事によってはなかなか休憩を取りづらいような状況が以前からあったが、最近は勤務体系の見直しや労働環境の改善などが進んでいるということを知った。また、土木構造物という市民の生活に強く結びついたものを造り上げていく過程を、現場で実感できることが非常にやりがいのある職種だと感じた。現場では、作業員の方々をはじめとして多くの人が協力して働いているため、日ごろからコミュニケーションが欠かせない。他者とかかわりながら一つのことを成し遂げていく部分も、建設業の魅力だと思った。

九州建設技術フォーラム2022

■主催/九州建設技術フォーラム実行委員会ほか ■開催日/2022年10月11・12日 ■場所/福岡国際会議場



九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及促進をより効果的に図るために、「産」「学」「官」が、それぞれの新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信・交換するイベントです。

2022年度も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら実施されました。今回は、「みんなで守ろういのちとくらし～防災・減災への技術開発～」をテーマに設定。九州地方整備局長の藤巻浩之氏による「気象の激甚化とウィズコロナ時代を見据えた九州のインフラ」と題した基調講演が行われたほか、ブース展示、ポスターセッション、プレゼンテーションなどで技術情報が提供され、WEBサイトからも技術情報などが配信されました。また12日には、特別イベント「土木×落語」も開催され、会場へは合計で2,788名が来場しました。なお、「リクルーティングプレゼンテーション」では、日建連本部のリクルート担当者が土木の仕事やゼネコンの魅力などを説明。11日は165名、12日には195名と、2日間にわたって合計360名の建設業に興味を持つ学生らが参加しました。

災害防止総決起大会

■主催／日建連九州支部安全環境委員会 ■後援／福岡労働局 ■開催日／2022年11月15日 ■場所／福岡国際会議場



建設業における労働災害は長期的には減少傾向にありますが、死亡者数は依然として全産業の中で占める割合が高く、憂慮すべき状況は変わりません。そこで九州支部では年末年始の災害防止活動として11月に「災害防止総決起大会」を福岡労働局の後援のもと開催し、労働災害の撲滅を期しています。2022年度は西河誠支部長、福岡労働局労働基準部安全課の奥蘭雅典課長の挨拶に続き2つの講演が行われました。

まず、福岡労働局労働基準部安全課の平田和宏産業安全専門官が、「建設業における労働災害の防止について」という演題で、「労働災害発生状況」や「第13次労働災害防止計画」などを説明。次いで、九州地方整備局企画部の鈴木昭人技術調整管理官が「建設現場における事故防止の取り組みについて」と題し、「工事事務発生状況(全国・九州)」や「工事事務の事例」などを解説されました。講演後は、尾崎光義安全環境委員会第1小委員長が「決意表明」を上田哲夫安全環境委員会委員長へ読み上げ大会は終了しました。

建設技術講演会

■主催／日建連九州支部 ■開催日／2022年12月20日 ■場所／福岡国際会議場



建設技術講演会は、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進し国民生活と産業活動基盤の充実に寄与することを目的に、建設業に関する専門的知識の習得および研鑽を図るために開催されています。

2022年度は西河誠支部長の挨拶に続き、3講演が行われました。まずは、九州地方整備局企画部の鈴木昭人技術調整管理官による「建設業における最近の話題」からスタート。「国土強靱化関係について」「建設業における働き方改革」などの項目を分かりやすく説明されました。次いで、日本気象協会九州支社の気象予報士・松井渉氏が登壇。「激甚化する大雨・台風災害」というテーマで、九州や西日本に被害を及ぼした豪雨や台風について、データ等をもとに解説されました。そして最後は、九州地方整備局企画部の房前和朋建設専門官が、「九州地方整備局におけるDXの取り組みについて」という演題で、進展するデジタルトランスフォーメーションの取り組みを説明されました。2022年度も多様なトピックスが並んだ、充実した講演会となりました。

意見交換会

■主催／日建連九州支部 ■開催日／2022年12月9日 ■場所／TKPガーデンシティ博多



毎年、日建連九州支部では国土交通省九州地方整備局と「意見交換会」を開催しています。2022年度は30名が出席して、意見を交換しました。

冒頭、西河誠支部長が、「日建連では、担い手確保、生産性の向上、働き方改革を重点課題として持続的に社会資本を整備し、地域社会の安全・安心を確保できるよう、また建設業を魅力ある産業へ進化させていく活動を続けている」と日建連の活動を紹介しながら挨拶。これに対し「今年も激甚な自然災害が頻発したが、安全・安心な社会の実現を目指し、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を計画的に推進したい。課題を一つ一つ解決しながら、若者が希望を持てる明るい業界となるように一緒に取り組みたい」と九州地方整備局の森下博之企画部長が挨拶されました。続いて、九州支部が「入札契約手続きについて」、「生産性の向上について」など7つの提案テーマを説明し、九州地方整備局が回答。その後は「自由討議」も実施され、約2時間にわたって意見交換が行われました。

安全環境委員会活動

講習会の開催状況

〈2022年度 安全環境委員会の主要活動〉

部会別区分	講習会受講者
交通	台風接近のため中止
地下埋	1回 50名
環境	1回 60名
火薬類	1回 30名
計	3回 140名

※2022年度の安全環境委員会は、新型コロナウイルスの感染防止のために「現場点検」は実施せず、各種講習会だけを開催しました。



団体の概要

〈一般社団法人日本建設業連合会〉

■設立

(社)日本建設業団体連合会(旧日建連)、(社)日本土木工業協会(土工協)、(社)建築業協会(建築協)の三団体は、2011年4月1日に合併し、(社)日本建設業連合会(日建連)として新たに発足しました。また、2013年4月に一般社団法人に移行しました。建設業界が大きな転換期を迎えつつある今、建設業団体としての機能を一層強化・拡充し、建設業の発展に向けた活動をより強力に展開してまいります。

■目的

日本建設業連合会(日建連)は、日本を代表する総合建設業者を主な構成員とする団体です。日建連は、建設業に係る諸制度をはじめ、建設産業における内外の基本的な諸課題の解決に取り組むとともに、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進することにより、わが国の建設産業界の健全な発展を図り、もって国民生活と産業活動の充実に寄与すること、を目的としています。

■会員

日建連は、建設業界の連合組織であり、正会員である団体会員と法人会員、および特別会員によって構成されています。

- 法人会員…一定規模以上の総合建設業者
- 団体会員…主に総合建設業者で構成する事業者団体

さらに、日本国内で事業活動を行っている外国の建設業者および、建設業に密接に関連する事業を行っている法人を対象にした特別会員制度も設けています。

2023年2月1日現在の会員数は、正会員141社・5団体、特別会員6社です。

■役員

総会において理事、監事が選任されます。任期はそれぞれ2年となっています。協会活動の円滑な運営を図るため、理事会の決議により会長、副会長、事務総長、専務理事、常務理事を置いています。

■機関

事業を推進するため、次の機関を設置しています。

- ①総会
定時、臨時の2種類があり、定時総会は毎年4月に開催されます。事業計画、収支予算、役員を選任など協会活動の基本的な諸事項について審議、決定します。
- ②理事会
通常、毎月1回開催され、総会に付議する事項や総会の議決を要しない会務に関する事項を審議、決定します。
- ③事業本部および委員会
協会活動の中心となる調査研究組織であり、2つの事業本部と2つの特別委員会、28の委員会を設けています。委員は会員各社から募り、建設業に係る諸問題について調査研究活動を行っています。
- ④支部
全国9地区に支部を設置しています。支部には、支部長、副支部長、運営委員、監査委員を置き、本部の活動方針に基づく活動を行っています。
- ⑤事務局
本部、支部それぞれに事務局を設置しています。

〈九州支部の概要〉

■設立

当支部は、本部の合併により、2011年4月1日から(社)日本建設業連合会(日建連)の九州支部となりました。また、2013年4月に一般社団法人に移行しました。支部の活動は、引き続き従来どおりの活動を行うとともに、3団体合併の主旨に則り、建設産業全体の健全な発展へ向けた諸活動をより強力に展開してまいります。

■会員

支部の会員は「九州地区において本社・支店等を有し建設業を営業者で、かつ、本部会員である者」に限られています。また、九州地区に本社・支店等がなくても、本部正会員であれば、支部の会員になることができます。

したがって企業規模・技術水準・社会的信用などあらゆる面で真に業界を代表するに足る企業によって構成されている団体です。

会員数は2023年2月1日現在で59社を数えています。

■役員

支部長は総会において、支部長候補者の了承後、会長から任命されます。副支部長は総会で選任された運営委員の互選により支部長が任命します。副支部長は9名を置いています。監査委員は総会において推薦者の了承後監事が指名します。任期はそれぞれ2年となっています。

■事業

本支部は次のような事業を行っています。

- ①災害対策への対応
- ②公共工事の円滑な実施
- ③安全・環境対策等の推進
- ④請負契約制度の改善および積算の適正化と資材対策の推進
- ⑤技術開発の推進
- ⑥電力施設建設事業、鉄道建設事業、海洋開発建設事業の推進
- ⑦広報活動の推進

■委員会

支部活動の中心となる調査研究機関として、広く会員から委員を募り、総務広報委員会、契約委員会、積算資材委員会、電力委員会、鉄道委員会、安全環境委員会、建築委員会を設置しています。

■沖縄支所

沖縄地区での活動を実施するため、1996年6月から沖縄に支所を置いています。支所に所属する会員数は43社を有しています。

一般社団法人日本建設業連合会九州支部会員

(五十音順 2023年2月1日現在59社)

ア

アイサワ工業(株)九州支店
青木あすなろ建設(株)九州支店
あおみ建設(株)九州支店
(株)浅川組九州営業所
(株)浅沼組九州支店
(株)新井組九州支店
(株)安藤・間九州支店

イ

岩田地崎建設(株)九州支店

ウ

梅林建設(株)

オ

大木建設(株)九州支店
(株)大林組九州支店
(株)大本組九州支店
(株)奥村組九州支店
オリエンタル白石(株)九州支店

カ

鹿島建設(株)九州支店
鹿島道路(株)九州支店

キ

九鉄工業(株)

ク

(株)熊谷組九州支店

コ

広成建設(株)九州支店
(株)鴻池組九州支店
五洋建設(株)九州支店

サ

佐藤工業(株)九州支店
三軌建設(株)

シ

清水建設(株)九州支店
ショーボンド建設(株)九州支店

セ

西武建設(株)九州支店
(株)銭高組九州支店

タ

大成建設(株)九州支店
大成ロテック(株)九州支社
大日本土木(株)九州支店
大豊建設(株)九州支店
(株)竹中工務店九州支店
(株)竹中土木九州支店

テ

鉄建建設(株)九州支店

ト

東亜建設工業(株)九州支店
東急建設(株)九州支店
東洋建設(株)九州支店
戸田建設(株)九州支店
飛鳥建設(株)九州支店

ニ

西松建設(株)九州支社
日特建設(株)九州支店
日本国土開発(株)九州支店
(株)NIPPON九州支店

ノ

(株)ノバック九州支店

ヒ

(株)ピーエス三菱九州支店

フ

(株)福田組九州支店
(株)フジタ九州支店
(株)不動テトラ九州支店

ホ

(株)本間組九州支店

マ

前田建設工業(株)九州支店
松尾建設(株)

ミ

三井住友建設(株)九州支店
みらい建設工業(株)九州支店

ム

村本建設(株)九州支店

モ

(株)森本組九州支店

ヨ

(株)吉田組九州支店
寄神建設(株)九州支店

リ

りんかい日産建設(株)九州支店

ワ

若築建設(株)九州支店

役員

(2023年2月1日付)

支部長	大成建設(株)九州支店長 西河 誠	副支部長	清水建設(株)九州支店長 坂尾 彰信
副支部長	西松建設(株)九州支社長 吉田 卓生	"	(株)安藤・間九州支店長 五所 久和
"	梅林建設(株)社長 梅林 秀伍	"	鉄建建設(株)九州支店長 重永 秀彦
"	鹿島建設(株)九州支店長 小森 浩之	"	(株)大林組九州支店長 上田 哲夫
"	(株)熊谷組九州支店長 宮脇 悟	"	(株)鴻池組九州支店長 川端 陽一
運営委員	青木あすなろ建設(株)九州支店長 大石 雅俊	運営委員	日本国土開発(株)九州支店長 草野 康成
"	(株)奥村組九州支店長 林 裕之	"	(株)フジタ九州支店長 安東 則好
"	九鉄工業(株)社長 古賀 徹志	"	前田建設工業(株)九州支店長 尾付野 誠
"	五洋建設(株)九州支店長 小倉 征巳	"	松尾建設(株)社長 松尾 哲吾
"	佐藤工業(株)九州支店長 中村 豊彦	"	三井住友建設(株)九州支店長 柴田 雅俊
"	(株)銭高組九州支店長 野間 栄喜	監査委員	大日本土木(株)九州支店長 中山 努
"	(株)竹中土木九州支店長 山田 敏昭	"	東急建設(株)九州支店長 三嶋 昭
"	戸田建設(株)九州支店長 畑中 靖博	"	(株)不動テトラ九州支店長 佐藤 敬
"	飛鳥建設(株)九州支店長 柳森 豊		